



助走が大切です！



2月の後半を迎え寒さもやっと一段落し、日差しの中に、僅かではありますが春めいた暖かさを感じるようになりました。梅や河津桜の開花の便りが届き、春を間近に感じる季節となりました。

1月に開催しました「作品展」ですが、子どもたちにとっては、精一杯作品制作に取り組んだ充実感を味わうとともに、他学年の学習状況を知る良い機会となり、有意義な取組であったと思われます。寒い中、多くの保護者の皆様に参観いただき、感謝申し上げます。また、授業公開を中止としたことにつきましては、児童の欠席の増加に加え、複数の教職員が出勤できない状況となり、苦渋の決断をいたしました。保護者の皆様には参観を楽しみにされていたと思われませんが、まことに申し訳ありませんでした。

さて、昨日閉幕した北京オリンピックでは、日本人選手が大活躍し、多くのメダルを獲得しました。特に日本のお家芸と言われる、スキージャンプ競技やフィギュアスケートでは、世界の注目を受けていました。小林陵侷選手はノーマルヒルで金メダルを、フィギュアスケート団体の銅メダル、鍵山選手は銀、宇野選手、坂本選手は銅メダルを獲得しました。数々の名場面や活躍から、たくさん「勇気や元気」をもらいました。本当に誇らしく思います。

そして、この二つの競技に共通しているのは助走の大切さではないでしょうか。助走の良し悪しで、ジャンプでは飛距離がずいぶん違うと聞いています。また、フィギュアでは、回転数や美しさなどジャンプの精度が大きく左右されるそうです。これは、体操の跳馬や走高跳、幅跳びでも同様のことが言えると思います。この助走を学校生活で考えてみると、様々な活動の計画や準備作業にあたるすることができます。

現在の学年で過ごす期間は、残り1ヶ月となりました。特に6年生は、卒業を控えています。子どもたち一人ひとりが卒業式、修了式を迎えたとき、「よくがんばったな」と自分自身を振り返ることができればとても嬉しいです。そのために、残りの期間の過ごし方を工夫してほしいと思います。またこの期間のがんばりが、次の学年をスムーズに迎えることができる助走になると信じています。南小学校の児童全員が笑顔で卒業式、修了式を迎えることができるように、職員一同がんばっていきます。

感謝を伝える週間

2月14日(月)から18日(金)までの一週間、「感謝を伝える週間」として、日頃お世話になっている用務員さんや配膳員さん、交通指導員さんやボランティアさんに向け、ありがたいの気持ちを手紙に書きました。

自分たちは、日々いろいろな方に見守られ、支えられていることを実感するよい機会になりました。



卒業式の予備日について

3月18日(金)に卒業式を予定していますが、本年度は予備日を設定します。
卒業式予備日 3月23日(水)(午後)

18日の卒業式実施可否に関わらず、1～5年生は、3時間授業で給食を食べ、12時10分に下校します。



お知らせ

○ 3月7日(月)が今年度最後の口座振替日です。各学年通信で金額をご確認ください。